

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年11月5日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (11/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.4 m <sup>3</sup> /h	23.5 °C	0.5 kPa g	A系： ー* vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m <sup>3</sup> /h	29.2 °C	5.93 kPa g	A系： ー* vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.06 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	28.0 °C	0.25 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol%

\*作業に伴いデータ欠測

## <2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (11/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	19.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	20.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	15.8 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	15.5 °C

\* 各号機 SFP および原子炉ウェルへヒドランジンの注入を適宜実施。

## <3. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (11/5 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	停止中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <4. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。  
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- 2015/11/5 東北地方太平洋沖地震により福島第一原子力発電所全体の地盤は 70cm程度沈下しており、より正確に地下水と建屋内滞留水等の水位差を管理することを目的に、従前より使用していた O.P.(小名浜ペイル)表記から測量結果をもとに算定した T.P.(東京ペイル)表記への切り替え作業を実施。
- 2015/11/5 0:09 2号機タービン建屋に設置されている滞留水移送設備の漏えい検知器が作動。このため、0:11 に2号機タービン建屋から高温焼却炉建屋への滞留水の移送を停止、0:12 に3号機タービン建屋から高温焼却炉建屋への滞留水の移送を停止。  
当社社員が現場確認した結果、滞留水移送配管の下部に設置してある約2m×5m×5cm の堰内に高さ約2cm の水たまり、堰外に約5m×5m×1mm の水たまりを確認。  
また、当該配管は塩化ビニールシートで覆われており、そこから数秒に1滴程度、堰内に滴下していたが、配管を覆っている塩化ビニールシートには、水が残っているものの、2:30 現在、水の滴下は停止している。  
確認された水たまりは、2号機タービン建屋内に留まっており、環境への影響はないと考えている。

- ・2015/11/5 3号機使用済燃料プールにおける燃料交換機の操作卓等の落下事象について、本日採取した使用済燃料プール水の放射能分析結果は、セシウム 134 は  $1.1 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ 、セシウム 137 は  $4.9 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ 、コバルト 60 は  $6.7 \times 10^{-1} \text{Bq/cm}^3$  であり、分析結果については、前回と比較して有意な変動はなく、燃料破損の兆候は確認されていない。

#### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体工事に向けて準備工事を開始。  
5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。  
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。  
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

#### 【サブドレン他水処理施設の状況】

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。  
9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。
- ・サブドレン他水処理施設について、一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日10/28日]については同等の値であり、運用目標値を満足していたことから、11/6に海洋へ排水予定。

#### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日10/22]は同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、11/4 9:59より海洋への排水を開始。なお、排水状況については、10:04に漏えい等の異常がないことを確認。その後、17:15に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は1,808m<sup>3</sup>。

#### 【1～3号機放水路の状況】

- ※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。  
<最新のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

- <K排水路排水口のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔・海水サンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
  - ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。